

令和4年度第4回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

日 時 令和5年2月2日(木) 14:00～15:00

場 所 中央区立環境情報センター研修室

議題

(事前配布資料)

- 資料1-1 中央区環境行動計画2018の進捗評価(令和3年度)(案)
- 資料1-2 中央区環境行動計画2018評価基準
- 資料1-3 経年変化(H30～R3実績一覧)
- 資料2-1 「中央区環境行動計画2023(仮称)」策定経過(第3回委員会以降)
- 資料2-2 令和4年度第3回中央区環境行動計画推進委員会における
ご意見等とその対応
- 資料2-3 「中央区環境行動計画2023(仮称)」中間報告に対する
パブリックコメントについて
- 資料2-4 「中央区環境行動計画2023」の構成(案)について
- 資料2-5 「中央区環境行動計画2023(仮称)」最終案(本編・別冊・概要版)

(当日配布資料)

- 1 中央区環境行動計画推進委員会委員名簿
- 2 中央区環境行動計画推進委員会座席表
- 3 委員就任依頼書
- 4 承諾書
- 5 経歴書

(1) 中央区環境行動計画 2018の令和3年度進捗評価について(報告)

●区

(議題の資料説明)

●委員

資料1-3も区のホームページで公開となるのか。

- 区

資料1 - 3は参考資料として作成したものであり、公開を予定していない。

- 委員

資料1 - 3について、経年比較による特殊事情を1点、2点と点数で評価しているのは気になるが、従来の評価方法を踏襲しているのでやむを得ないとする。

- 委員

資料1 - 3のp.1で「区施設における温室効果ガス排出量を減らす。」が1点なのが気になる。今後の区の実施について教えてほしい。

- 区

区施設の温室効果ガス排出量は電力由来が多いため、脱炭素電力への切り替えを中心に改善を行っている。来年度において「中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画（地方公共団体実行計画事務事業編）」を改定する予定のため、その中で示せるとよいとする。

- 委員

ロードマップを定め、実施の展開を示せるとよい。

- 委員

上位計画である基本計画も改定作業を行っており、区施設の温室効果ガス排出量削減の実施にも言及しているため、整合を図りたい。

- 委員

現状数値を羅列しているだけなので、区全体でどのような状況にあり、これからどのように対応していくかを最初に示すとより評価しやすくなる。

- 区

環境行動計画2018改定を踏まえて評価方法も見直す予定である。

（2）中央区環境行動計画2018の改定について

- 委員

資料2 - 5 概要版 p.2において、「私たちに課せられた大きな責務」は押し付けがましいので、修正が必要である。p.3において、基本目標6の「みんなで環境活動に」のあとに続く文字列が欠けている。p.9の基本目標5において、〈目指す姿〉の「区内有数の事業所の集積を誇る」という表現を「区内有数の事業所が集積している本区に

は」に修正すべきである。p.17の基本目標2の取組では「熱中症を防ぐ」というキーワードは残しておいたほうがよい。p.19の基本目標3の取組ではバイオプラスチックのイラストが唐突なので、区民がわかりやすいイラストのほうがよい。

- 区

意見を参考に修正する。

- 委員

概要版にも別冊 p.1のように区民に訴えるメッセージを追加するとメッセージ性が強まると考える。概要版 p.4のコベネフィットとの関連性において、環境保全の取組が災害対策にも貢献する旨、追記することを検討いただきたい。

- 区

概要版への別冊 p.1のようなメッセージの追記については、概要版への挿入の仕方を含めて検討する。コベネフィットの災害への貢献に関する追記については、本編・別冊との整合を含めて検討する。

- 委員

資料2-5の各計画書中の二酸化炭素排出量削減の数値について、トン数の数値に小数点以下が記載されている箇所とない箇所があり統一感がなく、有効数字が不明である。その点を踏まえ、概要版にはどの程度の二酸化炭素排出量削減効果があるかの概数を記載し、視覚的にわかるとよい。

概要版の p.17~20のフリー素材について、使用数の制限を確認する必要がある。

- 委員

現在の概要版の表紙は文字だけで味気が無いため、区民に手に取ってもらえるような楽しい雰囲気のほうがよい。

- 区

二酸化炭素排出量削減の有効数字については、全体を確認し調整を行う。概要版への二酸化炭素の削減効果に関する概数の記載は、身近なものに置き換えて示す等、イメージが湧きやすい内容を追記する。イラストの使用可能点数については確認する。概要版の表紙については、作成中であり調整を進めていく。

- 委員

二酸化炭素排出量の経年変化を、これから目指していく内容も含めて記載すると、一般の方にもわかりやすいと考える。

●区

概要版はわかりやすさが重要なので、ビジュアル面で工夫したいと考える。

●委員

概要版には目次があったほうがよい。概要版での難しい用語の注記方法を工夫してほしい。

●区

概要版のページ数が増えているため、目次の追加を検討する。また、難しい用語については、本編のように用語集を設けるのではなく、注釈での記載の方向で検討する。

●委員

本編 p.63 施策の体系において、「水素エネルギーの導入促進」を施策 7 に追加したが、施策 7 の具体的な取組の中に EV に関する記載があるのは違和感がある。施策 7 の記載内容を水素ステーション、燃料電池にするとよい。概要版 p.15 に水素ステーションの記載があるが、p.16 のロードマップに水素の取組がないので整合がとれていない。p.15 に焼却施設における CCUS のイラストは、CCU をイメージできるものに修正すべきである。

●区

水素の施策については整合を確認する。

●委員

一般にコージェネレーションシステムの動力はガスであることが多く、現時点でガスはグリーンなエネルギーではないため、「脱炭素」に関する文脈での記載は望ましくない。将来的にはコージェネレーションシステムがメタネーションの導入によってグリーンなエネルギーになる可能性もあるが、記載場所は精査が必要である。

●区

コージェネレーションシステムはガスを使用しているので脱炭素に関する文脈での記載は課題がある。令和 12 年度までの省エネ対策で有効であることと、コベネフィットにおける防災の観点でも有効なので、記載方法は精査したい。

●委員

脱炭素に関する文脈でコージェネレーションシステムを記載するのであれば、ガスの脱炭素化について注釈が必要になる。コベネフィットだからなんでもあり、という記載方法ではなく、考え方を明確にする必要がある。

次回委員会：令和5年8月24日（木）14時～ 中央区立環境情報センター研修室

以上